

平成22年11月(2010年) No.539

## 第50回OMC映像フェスティバル

# 大盛會にて無事終了

14年ぶりに朝日生命ホールで発表会

去る10月17日(日曜日)開催の第50回記念OMC映像フェスティバルは、14年ぶりに古巣の朝日生命ホールで行いましたが、大盛會のうち無事終了し、ほっとしております。今回の大成功の裏には、会員諸氏の並々ならぬ動員力の賜物と感謝いたします。当初印刷したプログラム1,500枚では足りず、当日用に220枚の特別編を用意して間に合わせました。開催にあたって、その準備や当日の上映を担当して頂いた関剛副会長と黒田先生には特にお世話になりました。その他照明担当や受付業務、記録係など各役割分担をして頂いた多くの会員さんにも厚く御礼申し上げます。話題の3D上映にあたっては井上会員に赤青めがねの用意やパソコン持参などお世話かけました。お陰で話題性十分でこれも観客増につながったのではないかと思います。なお観客数総は390名程だったと推定します。又、ご来場の方々には、東京、千葉、川崎、岐阜、高松等、遠路はるばる来て頂いた方もあり、第50回記念に相応しい華を添えて頂きました。ご祝電も多数頂戴いたし、2部の上映前にご披露させて頂きました。

第2部上映前には、日本アマチュア映像作家連盟事務局長 川上勝悟様のご祝辞をいただきました

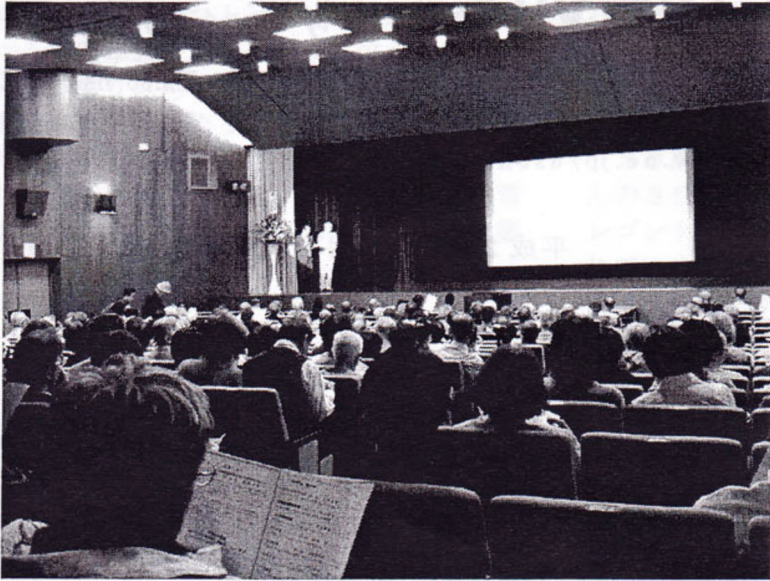
大阪アマチュア映像作家連盟からは、舞台の左右に「花」を贈られ、会場に華を添えさせて頂きました。この「花」は帰りに観客の皆さんに小分けして持って帰ってもらいました。

以上、50回記念映像発表会の概要を述べましたが、私共にとって50回という大きな節目となった今回の大盛會のことは「初めで終り」であり、生涯忘れ得ぬ思い出深き映像発表会となるに違いありません。感謝!

### 11月例会のお知らせ

11月例会は27日(第4土曜日)午後6時より、いつもの難波市民学習センター(JR難波OCATビル4階)にて開催します。  
 月1回の楽しい例会と二次会、皆さんのお越しをお待ちしています。





第50回記念OMC映像フェスティバル会場風景



本日一番の呼びもの、3D映像の視聴風景  
(インターネットOMC会報にも多数写真があります。)

### ご来場の主要な映像関係者たち

◎川上勝悟様 (日本アマチュア映像作家連盟事務局長) ◎鹿島隆雄・ルリ子ご  
 夫妻様 (東京アマチュア映像作家連盟会長) ◎山本恵司様 (千葉県・流山映像)  
 ◎柄沢和夫様 (元玄光社小型映画編集長、東京映像、山岳映画サロン) ◎原  
 勤様 (川崎映像会長) ◎吉田博様 (川崎映像、若手のグランプリ作家として  
 著名人) ◎吉田瑞穂・菊子ご夫妻様 (岐阜シネクラブ) ◎今田守様 (高松映画  
 ビデオ友の会会長) ◎竹島猛様 (前田氏の知人で大井川鉄道撮影会でお世話にな  
 った人)

### ■関西地区で主だった方

◎杉本憲一様 (NHK 奈良ビデオクラブ会長) ◎中嶋智様 (京都アマチュア映  
 像連盟会長) ◎坂口吉弘様 (神戸映像会長)。



このほか和歌山、京都、滋賀、神戸あたりから多くの映像関係者がお見えになりました。厚く御礼申しあげます。

## 祝電を頂いた方々

◎河辺明彦様（新潟県アマチュア映像連盟会長） ◎金子豊一・喜代子ご夫妻様（映像神奈川会長） ◎筒井俊明様（新潟ビデオ愛好会） ◎石毛文男様（銚子映像クラブ会長） ◎中嶋哲様（京都アマチュア映像連盟会長） ◎小野誠之様（和歌山市映像クラブ会長） ◎松山健様（和歌山県アマチュア映像連盟会長） ◎森裕治様（和歌山県ビデオサークル紀南会長） ◎嶽崎道弘様（和歌山8ミリビデオサークル会長） ◎今田守様（高松映画ビデオ友の会会長） ◎竹田幸男様（寝屋川市映像協会会長） ◎神戸映像会員一同様（坂口吉弘会長） ◎津田市郎様（高槻ビデオクラブ代表）

以上13通。すぐにお礼状を出しました。

## ご祝儀を頂いた方々

◎ビデオクラブ堺様（10,000円）  
◎柴谷郁生様（10,000円）  
◎竹島猛様（5,000円）  
◎坪井仁志様（5,000円）

この他、増池茂様よりもご祝儀を包んで来られましたが、増池さんはOMC会員さんでもありますので、会計処理としては、カンパ金として頂戴いたすことにしました。

以上、ご好意に感謝申しあげます。

## ご来場の竹島さんよりお便り

前略失礼します。この度は第50回記念の盛大なるOMC映像フェスティバルの成功おめでとうございます。今回お声かけを頂き立派な映写会に参加し皆様にご配慮賜りありがとうございました。

行き届いた会場と映写設備には皆さんの意気込みや万端の準備があり400名に及ぶ参加者に驚いた次第です。

上映18作品のどれもが流石に洗練された内容で色々のジャンルに作者の主張が表れておりアマチュアながらレベルの高さに感動の一言です。

また大画面での3Dは、かるか昔の立体映画以来の観賞でしたが、これからの制作映像を予感させられました。

OMCの皆さんは、作品づくりとともに機材やソフト対応にも優れた人がおるようで羨ましく感じております。

国内には数多くのクラブが存在しますが、これだけの規模と優れた作品づくりに及ぶ会は無いと思います。

前田さんを通じてこの度の大井川撮影会をご縁に会員の皆さんと親しく懇談させていただき私も非常によい勉強になりました。今後とも映像制作でのアドバイス、交流を頂きますよう衷心よりお願い申し上げます。この度は誠にありがとうございました。平成22年10月23日 竹島 猛

## 10月例会のレポート

第50回記念映像フェスティバルが大盛会のうちに終わったすぐ後に、10月例会が第4土曜23日に開催、岸和田の映像祭と重なった為もあり、出席者は20名の大台にようやく達しましたが、作品は8本という近年にない少なさでした。このまま減り続けることは無いとは思いますが、元気なうちはどしどし作品もつくって例会にもってきて下さい。ところで、今月新入会者がありましたのでご紹介します。

### ◎新入会者：船橋喜敏さん

住所〒540-0004 大阪市中央区玉造2-25-21

電話06-6761-6592

090-2196-2556

よろしく願いいたします。さて、今月の司会は合原氏、書記は安居氏の担当ですが関氏が録画し講評は合原氏、映写係、河合、江村両氏、受付は宮崎、華岡の両氏の各担当で会を進行しました。

■出席者：有村、井上、岩井、江村、岡本、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、西村、錦、華岡、前田、宮崎、森下、山本、吉岡、船橋（新入会者）の20氏（敬称略）

■会員住所録を同封しますが、メルアドが変更されている方は広報まで連絡下さい。

■上映（今月の講評は合原会長です）

### 1. お地藏さんのある風景（HDV）

前田茂夫さん

10分50秒



余部シリーズのひとつ、村のお地蔵さんを中心に四季おりおりの風景、信心深い地元のお年寄りさんの姿などを描いておられます。これだけのカットを積み上げるのに3年以上も費やされたこと、ご苦労のほどがしのばれる作品でした。吹雪のカットや雪をかきわけて地蔵さんにおまいりする老婆の姿が印象的でした。

## 2. 薬師寺抄 (HDV)

有村 博さん 10分15秒

8ミリフィルム時代、まだ西塔が建立されていない頃の薬師寺東塔の姿 (S46年撮影) から S56年西塔落慶法要、S59年中門落慶、写経体験等から DV になってからの大講堂落慶法要など貴重な映像が綴られて、最近の東塔を HDV でしめくられています。この東塔も年内一杯で大修理のため足場が架けられ今後8年間見られないとのこと。いずれにしても貴重な記録でした。

## 3. 奥能登の地響き (HDV)

進藤信男さん 8分15秒

室内での御陣乗太鼓を撮ってこられました。比較的近い場所でお面をかぶった出演者たちの熱演でしばしそれらしい雰囲気はひたりました。輪島市郊外の町のお祭りのときとのことでしたが、観客とか祭り風景が出なかったのが残念の様な気がします。

## 4. 桑名の史跡探訪 (HDV)

吉岡貞夫さん 13分45秒

先月お持ちの「なばなの里」撮影の帰りに桑名に立ち寄られ、観光案内所に聞いて史跡めぐりをされた由。桑名城跡、七里の渡し跡、これより伊勢路に入るという一の鳥居、住吉神社と続きますが、圧巻は六華苑、1万8千平方メートルの広大な敷地にイギリス人コンドル氏設計の木造洋館と和館の堂々たるたたずまいでした。国の重要文化財というのもうなづけます。

## 5. 住吉神社・夏祭り (HDV)

河合源七郎さん 10分20秒

輪島市ふげし町の住吉神社でのキリコ祭りの記録です。年一回のこの町の祭りに都会へ行っている若者たちも参加し盛りあがります。観光化されていない地方の祭りはその土地の人たちが皆で楽しんでいる様子が画面から伝わってきます。御幣竹に火をつけ竹を奪い合うところやキリコで太鼓を

打ち鳴らすなど迫力があり楽しく拝見いたしました。

## 6. バリ・レゴンダンス (3D)

井上勝彦さん 7分13秒

50周年記念映写会で気を吐いた井上さんの3D新作品です。バリで本場もののレゴンダンスをほとんどノーカットで撮られています。良い音を出すためにカメラのマイクは使わずに、別にPCM録音をして、編集時に音を入れ換えられたというこだわりようです。3Dなので途中でのズームングやアップのカットインなどが困難なようで、撮影の制約は多いようですが、踊る人の前後関係、背景など、赤青のめがねを通してみた舞台状況は、奥行きのある立体感が出ていました。まるで実際の舞台を見ているようで、バリへ行った気分でした。

## 7. うだつの阿波おどり (HDV)

江村一郎さん 7分30秒

徳島の脇町という町は、瓦屋根の上に設けられた火を防ぐ「うだつ」という隔て壁の旧家が並ぶ町なみで名を知られていません。そこで祭りの日は阿波おどり一色で賑やかな町となります。夕方から夕暮れどき、そして夜へと、次第に盛りあがる祭りの雰囲気はじわっと強まっていく、そうした情景描写はさすが江村作品です。観光化された徳島の華麗な阿波おどりでなく、地元の人たちが自ら祭りを楽しんでいる様子がカットカットの間から滲み出ていました。ラストカットの昼間の吉野川と白い鳥が飛ぶカットは、せっかくの祭りの余韻をはぐらかせられた様で惜しいと思いました。

## 8. マレー半島縦断 (HDV)

山本正夢さん 11分40秒

シンガポールを出発し、バスや船を使って1,800キロ、タイへの長旅を娘さんと楽しんで来られました。一泊800円の安宿の体験もなされたようで、タフな山本さんならではの旅を満喫されてこられました。マレーシアのクアラルンプールの超高層ビル、民族舞踊、フィッシュマッサージ、チャイナタウン、ペナン島、そしてタイへ入国、動物園で象に乗ったり海水浴を楽しんだり盛りだくさんの観光で旅を楽しんでこられました。見ていて楽しい気分になりました。